

学校名

狭山市立水富小学校

本校児童会は、「さやまっ子の誓い」を

承認します。承認しません。

本校のいじめ防止に関する実践



今年度も引き続きコロナ禍の中でのスタートとなりました。代表委員会では、「コロナの影響で、暗い気持ちになりがちだけど、このようなときだからこそ笑顔で、友達とのつながりを大事にしていきたい。明るいあいさつを増やしていくことでさらに友情を深めていきたい。」と話し合いが行われました。そして、今年度のスローガンが「**笑顔と友情であいさつ増やそう ～笑顔が増えれば友情深まる！～**」になりました。

①あいさつ運動

代表委員会が朝、月1回のあいさつデーの日に、各学年の昇降口の前に立ち、挨拶の呼びかけを行ってきました。初めのうちは、下を向いてしまいあいさつを返してくれる人が少なく、元気がない印象でした。そこで、委員会の時には必ずあいさつ運動の振り返りを行いました。そしてあいさつが返ってこない原因をみんなで考え、アイデアを出し合いながらあいさつ運動に取り組んでいきました。少しずつ自分からあいさつをしてくれるようになり、元気のよいあいさつが増えてきました。あいさつをすることで、学校全体が明るくなり、笑顔が増えました。



②水小遊園地

水小遊園地は、縦割り班の集会活動です。高学年がリーダーとなり、縦割り班で協力してお店作りや小グループでお店をまわっています。昨年度はコ

ロナの影響で実施できませんでしたが、今年度は感染対策をしながら実施することができました。代表委員で水小遊園地のスローガンを決めました。スローガンは「仲よく助け合い 思い出に残る遊園地にしよう」です。今年度は、クラスごとにお店を作り、縦割り班でお店をまわる形になりましたが、クラスの仲間とも仲良く助けあってお店作りをし、縦割り班の仲間とも仲良く助け合って楽しく遊べるようにと考えたスローガンです。一人ひとりが自分の役割をしっかりと果たし、優しい声掛けが至るところにあふれていました。笑顔いっぱいの日になりました。



③なかよしタイム（縦割り班活動）

月一回の水曜日に、縦割り班活動（なかよしタイム）をしています。5・6年生が中心になり、室内でできる遊びや外遊びの計画を立てました。楽しさだけでなく感染症対策も考えなければならないので大変でした。低学年の子にもルールが分かるように、劇仕立てで説明したりと工夫が見られました。ルールが分からない下級生がいたら「どうしたの?」「大丈夫?」と声をかけたりして、助け合いました。初めは緊張していた下級生が「楽しかった!」「また、やりたい!」と笑顔で教室に帰って行きました。なかよしタイムを通して相手を思いやる気持ちを育んできました。



このような日常の取組が、笑顔いっぱいの学校、いじめのない学校につながっています。コロナでできないことが多く残念ですが、**笑顔と友情とあいさつがあふれる**水富っ子を目指して日々頑張っています。